

こころとからだのしくみと生活支援技術 基礎的知識の確認生活支援技術習得状況

① 達目標・評価の基準

日建学院 名古屋校

ね ら い	<p>・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を取得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。</p> <p>・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。</p>
-------------	---

科目 修了時の評価ポイント

No.	科目	修了時の評価ポイント
1.	介護の基本的な考え方	・主だった状態像の高齢者の生活の様子をイメージでき、要介護度等に応じた在宅・施設等それぞれの場面における高齢者の生活について列挙できる。
2.	介護に関するところのしくみの基礎的理解	・要介護度や健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則（方法、留意点、その根拠等）について概説でき、生活の中の介護予防、および介護予防プログラムによる機能低下の予防の考え方や方法を列挙できる。 ・人の記憶の構造や意欲等を支援と結びつけて概説できる
3.	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	・利用者の身体の状態に合わせた介護、環境整備についてポイントを列挙できる。 ・人体の構造や機能が列挙でき、何故行動が起こるのかを概説できる。
4.	生活と家事	・家事援助の機能と基本原則について列挙できる。
5.	快適な居住環境整備と介護	・介護用品の理解、住居環境整備と福祉用具の活用
6.	整容※	・装うことや整容の意義について解説でき、指示や根拠に基づいて部分的な介護を行うことができる。 脱建着患
7.	移動・移乗に関連した※	・移動、移乗に関する福祉用具の活用ができる。負担の少ない移動、移乗を理解する。移動の阻害要因を理解している。
8.	食事※	・食事の意味と食事を取り巻く環境整備の方法が列挙でき、食事に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 誤嚥性肺炎の注意
9.	入浴・清潔保持※	・入浴や清潔の意味と入浴を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、入浴に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 常に危険をはらんでいることを意識する
10.	排泄※	・排泄の意味と排泄を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、排泄に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 羞恥心への配慮
11.	睡眠※	・睡眠の意味と睡眠を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、睡眠に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 安眠・熱創への配慮
12.	死にゆく人※	ターミナルケアの考え方、対応のしかた・留意点、本人・家族への説明と了解、介護職の役割や他の職種との連携（ボランティアを含む）について、列挙できる
13.	介護過程の基礎的理解	・介護過程の目的、意義、展開
14.	総合生活支援技術	・利用者の心身の状態に合わせた介護の提供

・赤文字は特に理解を求める

※ に関連したこころとからだの仕組みと自立に向けた介護評価のポイント詳細については別紙（シラバス）参照